平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場会社名　株式会社 ピーエス三菱　　上場取引所　東
コード番号　1871　URL　http://www.psmic.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 勝木　恒男
問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長　(氏名) 宅野　伸二　TEL 03-6385-9111

四半期報告書提出予定日　平成24年8月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	18,624	13.4	△465	―	△484	―	△562	―
24年3月期第1四半期	16,429	△13.4	△320	―	△311	―	△309	―

(注) 包括利益　25年3月期第1四半期　△553百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　△369百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△17.36	―
24年3月期第1四半期	△9.54	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	60,079	17,504	29.1
24年3月期	67,338	18,139	26.9

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　17,504百万円　24年3月期　18,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	2.50	2.50
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注2)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	15.7	△100	―	△200	―	△300	―	△9.26
通期	94,000	0.5	1,200	145.7	970	321.4	700	△4.0	21.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 有
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 有
④ 修正再表示	： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3頁「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	40,037,429 株	24年3月期	40,037,429 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	137,135 株	24年3月期	137,085 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	32,400,335 株	24年3月期1Q	32,401,150 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものであはありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	－	－	－	－
25年３月期	－				
25年３月期（予想）			－	5.00	5.00

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
４．補足情報 …… 10
受注実績 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として国内景気は緩やかに回復しつつありますが、欧米諸国の債務危機問題や長期化する円高の影響を受け、景気の先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、東日本大震災からの復旧・復興、インフラの耐震補強等により、当面の建設投資は回復傾向が続く見通しでありますが、受注競争は激化しており、労務事情の悪化から労務費の高騰を招く等のコストアップの要因も顕在化する等、依然として厳しい状況にあります。

このような経営環境のもとで、当社は基盤事業である橋梁に代表される公共工事を中心とした「土木建設事業」と民間工事を中心とした「建築建設事業」の２本柱を強化しながら、ＰＣ（プレストレスト・コンクリート）技術の適用範囲を広げて新しい分野を開拓することで、企業競争力を高め、対外環境の激しい変化に対応しながら、黒字の継続と企業体質の強化を目指し「わが国トップのＰＣゼネコン」を目指してまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高186億24百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

利益につきましては、グループ各社とともに省力化、合理化による原価低減、販管費の削減等に取り組んでまいりましたが、営業損失４億65百万円（前年同四半期は営業損失３億20百万円）、経常損失４億84百万円（前年同四半期は経常損失３億11百万円）、四半期純損失５億62百万円（前年同四半期は四半期純損失３億９百万円）となりました。

なお、当社グループの主たる事業であります土木建設事業ならびに建築建設事業の売上高は、工事の発注が下半期、特に第４四半期連結会計期間に集中しているため、第１四半期連結会計期間から第３四半期連結会計期間における完成工事高に比べ、第４四半期連結会計期間の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

土木建設事業は、売上高は99億69百万円（前年同四半期比25.0%増）、セグメント利益は８億87百万円（前年同四半期比52.6%増）となりました。

建築建設事業は、売上高は83億24百万円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント利益は２億17百万円（前年同四半期比62.5%減）となりました。

製造事業は、売上高は７億84百万円（前年同四半期比87.4%増）、セグメント利益は14百万円（前年同四半期は23百万円の損失）となりました。

その他兼業事業は、売上高は５億80百万円（前年同四半期比21.7%増）、セグメント利益は73百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、報告セグメントの売上高、セグメント利益又は損失を記載しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は444億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億45百万円減少いたしました。これは主に未成工事支出金が12億99百万円、その他のたな卸資産が５億63百万円増加しましたが、現金預金が39億13百万円、受取手形・完成工事未収入金等が56億93百万円減少したことによるものであります。固定資産は156億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億87百万円増加いたしました。これは主に機械、運搬具及び工具器具備品が１億14百万円、投資その他の資産が４億39百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、600億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ72億58百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は371億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億39百万円減少いたしました。これは主に未成工事受入金が12億22百万円増加しましたが、支払手形・工事未払金等が21億27百万円、短期借入金が56億47百万円減少したことによるものであります。固定負債は54億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。これは主に役員退職慰労金が36百万円減少しましたが、退職給付引当金が57百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、425億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億23百万円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は175億４百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億34百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が６億43百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は29.1%（前連結会計年度末は26.9%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月11日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,849	5,936
受取手形・完成工事未収入金等	36,398	30,704
未成工事支出金	2,440	3,740
その他のたな卸資産	1,651	2,214
繰延税金資産	8	3
未収入金	1,646	1,462
その他	351	508
貸倒引当金	△157	△127
流動資産合計	52,188	44,443
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	7,599	7,599
機械、運搬具及び工具器具備品	10,058	10,172
土地	9,050	9,052
リース資産	137	137
建設仮勘定	7	45
減価償却累計額	△14,608	△14,716
有形固定資産合計	12,244	12,290
無形固定資産	35	36
投資その他の資産		
投資有価証券	1,139	1,126
破産更生債権等	2,127	2,106
繰延税金資産	178	182
その他	1,552	2,000
貸倒引当金	△2,128	△2,106
投資その他の資産合計	2,869	3,309
固定資産合計	15,149	15,636
資産合計	67,338	60,079

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	27,929	25,802
短期借入金	9,126	3,478
未払法人税等	160	108
未成工事受入金	3,080	4,303
賞与引当金	139	59
完成工事補償引当金	183	207
工事損失引当金	467	429
その他	2,673	2,731
流動負債合計	43,760	37,121
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,523	1,523
退職給付引当金	3,494	3,551
役員退職慰労引当金	241	205
資産除去債務	86	86
繰延税金負債	－	1
その他	92	85
固定負債合計	5,437	5,453
負債合計	49,198	42,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,218	4,218
資本剰余金	8,110	8,110
利益剰余金	4,435	3,791
自己株式	△60	△60
株主資本合計	16,704	16,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	80
土地再評価差額金	1,560	1,560
為替換算調整勘定	△215	△198
その他の包括利益累計額合計	1,434	1,443
少数株主持分	0	0
純資産合計	18,139	17,504
負債純資産合計	67,338	60,079

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)
売上高	16,429	18,624
売上原価	15,171	17,413
売上総利益	1,258	1,210
販売費及び一般管理費	1,578	1,676
営業損失（△）	△320	△465
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	15	3
為替差益	2	―
スクラップ売却益	4	2
貸倒引当金戻入額	9	9
その他	13	7
営業外収益合計	52	29
営業外費用		
支払利息	29	19
為替差損	―	13
支払保証料	8	13
その他	5	3
営業外費用合計	43	49
経常損失（△）	△311	△484
特別利益		
固定資産売却益	―	0
ゴルフ会員権償還益	86	―
その他	4	―
特別利益合計	90	0
特別損失		
固定資産除売却損	―	4
災害による損失	13	―
その他	4	―
特別損失合計	17	4
税金等調整前四半期純損失（△）	△238	△489
法人税、住民税及び事業税	29	64
法人税等調整額	41	9
法人税等合計	70	73
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△309	△562
少数株主利益	―	0
四半期純損失（△）	△309	△562

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△309	△562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△8
為替換算調整勘定	△39	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	△60	8
四半期包括利益	△369	△553
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△369	△553
少数株主に係る四半期包括利益	－	0

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	土木建設事業	建築建設事業	製造事業	その他兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,951	8,192	115	170	16,429	－	16,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	－	303	306	634	△634	－
計	7,975	8,192	418	476	17,064	△634	16,429
セグメント利益又は損失(△)（売上総利益）	581	580	△23	69	1,208	49	1,258

（注）１．セグメント間取引消去によるものであります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,208
調整額（セグメント間取引消去）	49
販売費及び一般管理費	△1,578
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△320

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	土木建設事業	建築建設事業	製造事業	その他兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,949	8,324	173	178	18,624	－	18,624
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	－	611	401	1,033	△1,033	－
計	9,969	8,324	784	580	19,658	△1,033	18,624
セグメント利益（売上総利益）	887	217	14	73	1,193	17	1,210

（注）１．セグメント間取引消去によるものであります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,193
調整額（セグメント間取引消去）	17
販売費及び一般管理費	△1,676
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△465

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

５．補足情報

受注実績

区分	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)		当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)		比較増減（△）	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
土木建設事業	4,463	33.1	8,255	39.9	3,792	85.0
建築建設事業	8,753	64.8	12,067	58.4	3,314	37.9
製造事業	115	0.8	173	0.8	58	50.4
その他兼業事業	170	1.3	178	0.9	7	4.5
合計	13,502	100.0	20,674	100.0	7,172	53.1